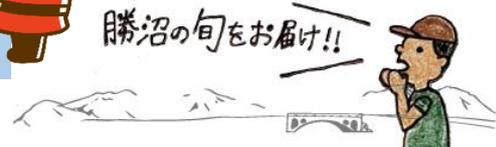




かつめま旬報



勝沼の旬をお届け!!



甲州市では、勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観を未来に引き継ぐための取り組みを行っています。そこで、勝沼地域での取り組みについての旬な情報をお届けするため、『かつめま旬報』を発行しています。

令和7年度第72回甲州市かつめまぶどうまつり同時開催 「ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス」を開催しました！

令和7年10月4日、勝沼の歴史や魅力を伝えるために、第72回甲州市かつめまぶどうまつり同時開催として「ぶどうとワインのまちを巡る勝沼フットパス」を開催しました。当日は、勝沼地域でボランティアガイドとして活動している「勝沼コンシェルジュ」の方々による案内のもと、宮光園（市指定文化財）を起点に、今回は『ワインの歴史コース』としてシャトー・メルシャン資料館（県指定有形文化財）や龍憲セラー（国登録有形文化財）、ぶどう冷蔵庫などを巡りました。

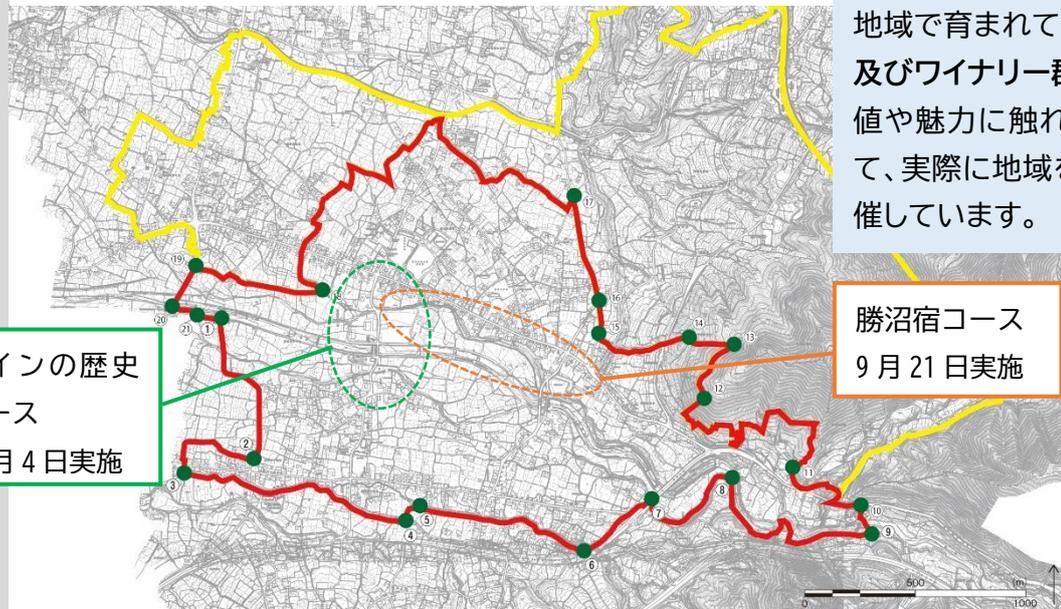
県内外から集まった参加者約30名の皆様にご参加いただき、江戸時代から続いてきたブドウ栽培、明治期に誕生したワイン産業の発達が見られな文化景観をどのように育んできたのか、実際に現地を巡り感じていただきました！

シャトー・メルシャン資料館は、宮崎第二醸造所を元にした建物で、現在はワイン資料館として活用されています！



宮光園(旧宮崎葡萄酒醸造所)(右)
シャトー・メルシャン資料館(左)

重要文化的景観選定申出予定範囲
価値調査対象範囲(平成28年度～平成30年度実施)



ワインの歴史コース
10月4日実施

勝沼宿コース
9月21日実施

地域で育まれてきた「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」の価値や魅力に触れていただく機会として、実際に地域を巡るフットパスを開催しています。

旧田中銀行博物館外壁修繕工事を実施しています

国の登録有形文化財「旧田中銀行博物館(旧田中銀行主屋)」の外壁(モルタル仕上げ部分)の一部が経年劣化により亀裂が生じているため、修繕工事を実施しています。

【実施期間】令和7年10月27日～11月中旬頃

～旧田中銀行博物館の歴史～

擬洋風建築(藤村式建築)を多く手掛けた下山大工の松木輝殿によって施工されました。明治30年代に勝沼郵便電信局の局舎として建築され、大正9年(1920)に山梨田中銀行社屋として使用されていました。



旧田中銀行博物館



甲州市立勝沼図書館 カムカムクラブによるデジタルライブラリー映像制作！ 原茂ワイン・勝沼の葡萄栽培用具及び葡萄酒醸造用具 編

令和7年9月27日、勝沼地域の歴史・文化、その魅力を子どもたちによって紹介し、自ら撮影した映像をデジタルライブラリーとして保存・公開する企画「デジタルライブラリー映像制作」を原茂ワイン(国登録有形文化財)、宮光園(市指定文化財)にて行いました。

原茂ワイン(国登録有形文化財)では、原茂ワインの歴史やワイン造り、和風建築の主屋の特徴など、子どもたちに元気いっぱいの紹介していただきました。

一方、宮光園白蔵では、一般公開されている、勝沼の葡萄栽培用具及び葡萄酒醸造用具(国登録民俗文化財)500点の中から、竹で編まれた「ブドウ籠」やブドウ籠の上に掛けられた「掛け紙」、手持ち爆音器の「雀おどし」、スピードスプレーヤー(SS)の原型の「リヤカー自走式噴霧器」などを子どもたちの言葉でわかりやすく紹介していただきました。



原茂ワイン古屋真太郎社長から、原茂ワインの歴史やワインづくりについて教えていただきました！

～子ども読書クラブ(カムカムクラブ)とは～

勝沼図書館の教育事業のひとつで、小学校3～4年生の児童対象の会員制子ども読書クラブです。



今日の勝沼ワンポイント

Collection13 小正月行事 道祖神祭り

道祖神祭りの「どんど焼き」は、1年の厄除けと豊作を祈り、各家の門松や注連飾りを集めて、道祖神の前や広場などにオコヤ(小屋)、ヤグラ(檜)を作り、1月14日に燃やす、全国各地で広く行われる風習です。

「どんど焼き」のオコヤは地域によって形や呼び名は様々ですが、勝沼地域も地区ごとに材料・形が異なり、独特な文化が受け継がれています。



発行：甲州市教育委員会 生涯学習課文化財担当
山梨県甲州市塩山上於曾 1085 番地 1
TEL 0553-32-5076/FAX 0553-32-5172
令和7年12月1日発行

詳しくは

勝沼 文化的景観



かつめま旬報 vol.17は、2月1日発行予定です。

